



グルモール

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2021

第7号

令和3年3月11日

令和2年度、コロナ禍の厳しい1年間でした。

皆様のご理解とご支援に対し、心より感謝申し上げます。

校長 足立 浩

本日、3月11日の修了式で、令和2年度ニューデリー日本人学校の全教育課程を修了いたします。

この1年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症により全世界が翻弄される中、本校も大変厳しい環境下での教育活動となりました。ロックダウンにより急遽学校は休校、外出規制も敷かれ、自宅からのオンライン授業を開始することとなりました。学校に出入りできない中でのオンライン授業準備でしたので、苦労しながらのスタートでした。各ご家庭におきましても、お子さん1人1人にパソコン等の情報端末を用意していただき、兄弟姉妹の授業の声が重ならないよう室内を工夫していただくなど、多くのご苦労をおかけしました。

4月21日にオンラインでの始業式を開始してから先日の学校再開まで、オンライン授業は178日を数えました。この間、子どもたちは多くの困難を抱えながらもよく我慢して学習に取り組みました。学校行事はほぼ実施できませんでしたが、12月の入学式、2月の学習発表会、BBS交流会はオンラインで開催でき、子どもたちの成長や頑張りを感ずることができました。

2月17日の学校再開後は、感染対策を徹底しながら対面での授業が始まりました。3月2日の桂サンシャイン氏オンライン落語会では、子どもたち、保護者の皆様とともに楽しい一時をすごすことができました。

3月5日、令和2年度の卒業証書授与式を実施しました。小学部13名（在インド9名、在日本4名）、中学部6名（在インド3名、在日本3名）の卒業生が、来賓・保護者の皆様、教職員が見守る中、凛々しい姿で巣立っていきました。午前は本校体育館で対面式、午後は日本各地とつないでオンライン式という二部構成でした。学校再開後、短期間で迎えた卒業式でしたが、コロナ禍の厳しい1年の締めくくり、節目として無事に終えることができ、嬉しく思いました。

本日で、対面授業の日数は17日（G6・G9は13日）となり、年間195日（G6・G9は191日）学習に取り組んだこととなります。児童生徒数は3月1日現在で、インド在留者が55名、一時帰国者が32名、合計87名となっています。コロナ禍で多くの児童生徒が本校を離れることとなりましたが、新たな学校でも元気に頑張してほしいこと、そして機会があればぜひ本校に戻って来てほしいと願っています。

令和2年度は「不測の事態、先が見えない、これまで経験したことがない」という形容が度々使われた1年でした。修了式を迎えるにあたり、この1年間本校の教育活動に対しまして、保護者・学校理事会・デリー日本人会及び大使館の皆様の多大なご理解、ご支援をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。

いよいよ春休みを迎えますが、新型コロナウイルス感染症については、まだ油断はできません。ご家庭におきましても、引き続き手洗い・消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気等、感染予防対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

4月、新しい学年になり、少し大きくなった子どもたちと元気に会えることを楽しみにしています。

【お知らせ】

本年度の帰任職員の挨拶は、本日、グーグルクラスルームにて配信いたします。

同時に、卒業証書授与式第2部の様子もグーグルクラスルームにて配信いたしますので、ご覧ください。

【3月1日現在の在籍者数内訳】

	一時帰国	インド在留	在籍者数
1年生	0	5	5
2年生	7	5	12
3年生	2	10	12
4年生	3	5	8
5年生	4	6	10
6年生	4	9	13
7年生	6	9	15
8年生	3	3	6
9年生	3	3	6
計	32	55	87